

『東亜』2026年7月号目次

■特集 アジア電動モビリティ革命

* <特別インタビュー> 日本発グローバルベンチャーの挑戦

— 激変する国際政治経済環境下での事業展開 — 徳重徹・駒形哲哉

* 社会インフラとなった電動自転車—「中国モデル」は世界に拡大するか 高口康太

* 地場企業が主導するベトナムEバイク革命

— バッテリーをめぐるポストセールス競争 — 三嶋恒平

■ASIA STREAM (2026年5月-2026年6月)

* 中国の動向 北朝鮮の非核化棚上げで関係深めた中朝両国 濱本良一

* 台湾の動向 訪米の鄭麗文国民党主席を米国は冷遇 門間理良

* 朝鮮半島の動向 地方選が「半分の勝利」となった満1年の李在明政権 小針進

■COMPASS

* 投資と資本形成の乖離をどう見るか 月岡直樹

* 変容する香港地元ツアー「無慮不旅遊」政策の現在地 瀬崎真知子

* 北朝鮮における社会主義愛国青年同盟のポジション

— 実働部隊として重視される青年たち — 森類臣

■Briefing Room

* 米国とイスラエル 同盟を超えた「特別な関係」 溝淵正季

■マカオは今〔94〕

* 経済成長鈍化下の諸政策

— 現金配布・中国伝統医薬・ポルトガル(語)回帰 — 塩出浩和

■Book Review on Asia 今月の一冊

* 『親日派—売国と愛国の韓国史(中公新書)』(小野容照著) 嵯峨隆

■ASIA SCOPE

* 「中国夢」の亡霊たち—新東北文学における「悪夢」と「救済」 楊駿驍

■滄海中国

* 中国宗教の諸相(7) 福の神—財神と仙人— 二階堂善弘

■企画連載

* 米朝関係の新たな展開と米中 (第4回)

国際政治における権力の「個人化」—自国優位主義に酔う政治リーダー— 伊藤剛

■巻頭言

* 不況下でなお健在の中国産業発展のダイナミズム 駒形哲哉

■New Publications on Asia

■表紙写真：©Kobe Li/Nexpher Images via ZUMA Press Wire

EVバスの前を電動バイクが行き交う深圳の夜景。同市内の路線バスは全てEVに置き換えられている。